

3-5 逆指値S注文

【逆指値S注文（S：Stop Orderの略）】

逆指値S注文は、現在値を中心として、買いの場合は「以上」、売りの場合は「以下」の逆指値条件を設定し、その価格に到達した時点で「成行」または「指値」注文を発注する方法です。

主に、損失確定（ロスカット）に利用します。

【売却注文の場合】

① 売却注文 - 入力-

② 逆指値S

③ 2805 エスピー-食品 時価更新

④ 500 株 4900 円以下になったら注文を出す

⑤ 指値 4910 円

⑥ 注文確認へ

私は次の内容を理解し、この取引がインサイダー取引(内部者取引)ではないことを確認したうえで発注します。

- ※ 株価の変動により、投資元本を割り込むことがあること。
- ※ 発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあること。
- ※ 「最良執行方針」にしたがって注文が執行されること。

①「買付（新規建）注文画面」または「売却（返済）注文画面」を表示させます。

②注文形態のタブのうち、[逆指値S]を選択します。

③買付注文の場合、銘柄コードの項目に買付したい銘柄コードを入力し、「時価更新」をクリック、またはEnterキーを押します。
売却注文の場合は、銘柄コード・銘柄名は既に表示された状態となります。

④それぞれの項目を入力します。
1.口座区分を選択します。
2.注文株数を入力します。
3.逆指値注文を発注する発注条件価格を入力します。
4.発注条件価格に合致後の、逆指値注文の執行条件（成行・指値）を選択します。
5.逆指値注文の価格を入力します。
※成行の場合は不要

⑤有効期限を選択します。
※注文期限は発注日から最大30営業日です

⑥インサイダー取引に関する注意事項をお読みいただき「注文確認へ」をクリックします。

■「クリア」…入力した情報が初期化されます。

-以降、通常の注文と同様-

ポイント 発注条件価格に合致後の「執行条件（成行・指値）」について

「成行」または「指値」を選択した場合のメリット、デメリットを解説します。

■ 成行

- ・メリット : 成行注文が発注される為、注文数量の全量が約定する可能性が高い。
- ・デメリット : 成行注文が発注される為、出来高が少ない場合などでは、逆指値の条件価格から乖離した価格で約定する可能性がある。

■ 指値

- ・メリット : 逆指値の条件合致後、指値注文が発注される為、約定価格を限定できる。
- ・デメリット : 指値注文が発注される為、指値価格の設定や相場状況によっては、注文が残る可能性がある。